

はじめての一步

第9号

2005.3



演芸ボランティアとは、主に病院や入所施設などで、新年会、お花見会、敬老の日、クリスマスなどのイベントの際に、ボランティアとして出張し、多彩な趣味・特技を活かして芸を披露して、患者さんや施設利用の方々楽しんでもらう活動です。

現在、演芸ボランティアとして「よかよかボランティア」に登録している個人の方は5人、団体は25団体あります。実際、平成16年度（平成17年3月1日現在）の活動実績は、約30の病院、施設等からの依頼があり、延べ約25団体、120人を超えた。方々が活動されました。

なぜイベントの際に、このような演芸ボランティアさんの需要があるのでしょうか。そこで、依頼をされる病院、施設の担当の方々にお話を伺いましたところ、「演芸ボランティアさんは、慰いや潤いを与えてくれる存在であ

♪楽しいひとときをプレゼント♪ 特集 演芸 ボランティア

るとともに、社会の風を運んでくれる大切な役目をしてくださいませ。」いつもは寝たきりの患者さんでも、華やかで本格的な装いの特別ゲストが登場し、芸が始まると、パアツと表情が明るくなるんですよ。「一緒に歌うことの出来ない高齢者の方でも目で見て、参加して、楽しんでいらつしやいませ。こういう姿を見ると大変うれしく思います。」「なかには、素晴らしい演奏を聴くことが出来て、入院生活が大変楽しかったと言ってくださる方もいらつしやいませ。これもすべて、ボランティアさんが爽やかな気持ちで花を添えてくださるおかげだと感謝の気持ちでいっぱいです」というようなお返事が返ってきました。

今回は、昨年末に病院や施設で行われたクリスマス会・忘年会の際に、演芸ボランティアとして活動された方々の声を中心にお届けします。

是非とも拝見！

今回、個人登録者である児玉さんが、「血」の他にも驚くようなものを回していらっしゃるとお聞きし、それは是非とも観てみたいということで、児玉さんの活動先へ駆けつけ、拝見して参りました。それはそれは私たちの身近にあるものを次から次へと回され、観ている私たちの目は釘付けになりました。



「血回し」ボランティア
個人登録者
こだま ときお
児玉 登記雄さん

私と血回しの出会いは、11年前の熊日新聞の「新米記者、蘇陽町で血回しを体験」という記事でした。子供の頃、祭りの出店の人の血回しを見て以来興味がありましたので、早速、蘇陽町に行き指導を受け、血回しの虜になりました。

1年程後、ギター演奏で施設訪問をしている清田さんという方より誘い

があり一緒にボランティア訪問をするようになりました。皆さんの前で芸を披露するには血だけではなく、色々な物を回したほうが喜ばれると思い、「フライパン・コタツ・畳」等を回すようになり、現在は「自転車」も回しています。

年に40回程ボランティア訪問していますが、私は逆に見ている皆さん

からボランティアされているのではないかとよく思います。と言いますのも、皆さんの拍手が私を元気付けてくれ、張りのある毎日を送ることが出来るからです。今、私は体力の続く限り「血回し」ボランティア訪問を続けようと思っています。



団体登録者 「南京玉すだれ」の堀坂登さん・「尺八演奏」の濱口律雄さん

ここでは、病院での忘年会へ招かれて演芸を披露されたボランティアの智慧袋一期(南京玉すだれ)さん、都山流尺八楽会(尺八演奏)さんをご紹介します。実際演芸を披露されているところを拝見して、ボランティアさん自身が楽しみながら活動されていることがとても伝わってきました。また、忘年会に参加された方々もとても喜ばれている様子でした。お互いがこのような気持ちになれるなんてとても素敵なことですね。

このように楽しく活動をしていくためには、ボランティア活動すべてに当てはまることですが、ボランティアの基本的な心構えがあります。その鏡ともいべきボランティアに対する姿勢をお持ちの方々だということは言うまでもありません。ボランティアさんの心意気をどうぞご覧ください！！



音楽にあわせながら、南京玉すだれ、リングを披露
(写真中央：堀坂登さん)



ちえぶくろいっき なんきんたま 智慧袋一期 (南京玉すだれ) 堀坂 登さん



さわやか長寿財団の智慧袋講座で受講生の募集がありました。家内と相談して、芸なしの私が隠し芸の一つにでもなればと、受講したのが南京玉すだれとの出会いです。

講座が終了して二ヶ月程たつてから、長寿財団から老人保健施設、続いて、保育園に演技に行つてほしいと要望がありました。受講料なしで習ったのだから帳面消しにと、グループで出掛けました。

演技を披露すると、お年寄りからは、「また、来てね」と握手を求められ、園児は眼を輝かせて興味津々で喜んでくれます。今では、声がかかれば、進んで出向いて行きます。「玉すだれ」は、十分程度の演技なので、リング、銭太鼓を習い、演技の幅を広げています。また、現在マジックも習得中です。

家内が心配するので、昨年からは自家用車をやめ、公共交通機関を使って出掛けています。家族の応援とグループのメンバーの協力を得て、許す限り続けていこうと思つています。

とざんりゅうしゃくはちがつかい しゃくはちえんそう 都山流尺八楽会 (尺八演奏) 濱口 律雄さん



楽しいお話をまじえながら、尺八で
民謡、演歌などを演奏

私は一年前まで秋津デイサービスセンターに勤めておりました。職業とボランティアが同一の生活を約十年勤めました。若い頃から尺八、三味線、民謡と趣味でやってましたのですべてが役立ちました。

敬老会、文化祭、正月行事などで芸を披露して来ました。私がこの十年間で芸を披露して来たのは、相手の心の中に少しでも入り込むという事だと感じました。最初の頃はなんでもなんに一所懸命演奏しているのに無表情で喜んでくれないのかと思つていました。

ある時、小学生が先生に連れられて学習に来ました。先生が「はい皆さんに肩たたきしてあげましょう」と言われて、一人一人の肩たたきや指ゲーム等をしている時のうれしそうなお顔を見たとき、ハア！これがボランティアの基本だなと心得ました。



ボランティアの基本的な心構え

相手の立場で考え
行動しましょう



自分も楽しみながら
活動しましょう



無理しないで、
継続させましょう



家族や周囲の理解
を得ましょう



学習を重ねて、
自分自身を高め
ましょう



演芸ボランティアの種類♪

演芸ボランティアといっても、歌・踊り・マジック・フラダンス・大正琴・ゴスペル・日本舞踊・ちょんかけごまなど様々。どれもそれぞれの特技を生かしたすばらしい活動です。

一つの曲でも楽器が違えば色々なハーモニーが生まれ、そこから無限の音楽の楽しみが広がります。また、伝統文化・伝承遊びの披露など、演芸ボランティアは、特技の数だけたくさんの種類のボランティアがあるんですよ！！

演芸ボランティアとして活動されているボランティアさんも「はじめの一步」を踏み出してみて、今はこの様なすばらしい活動へと結びつけています。実際に活動の様子を見学しに行ってみましたが、皆さんそれぞれの活動をとっても楽しんでいる様子で、見ているこちらにも元気を分けて頂き、一緒に楽しむことができました。音を通して人と人とが結びついてゆく様子が伝わってきます。今回は、心に響く音楽での活動をされているボランティア団体さんの紹介です。



マンドリンの説明をしている様子♪



くまもと きょうかい 熊本マンドリン協会 代表 市原 道啓さん

一緒にボランティアコンサートに参加しませんか？

熊本マンドリン協会は、昭和29年に創立された、マンドリン音楽の好きな人たちの集まりです。主な活動としては、ボランティアコンサート、九州各地のマンドリン愛好家が集まる九州マンドリンフェスティバル、定期演奏会等です。

特に、ボランティアコンサートは、あまり、ボランティアという言葉になじみが無かったころから、施設や病院、学校などへ「慰問演奏」という名前で行っていました。その回数は、現在では、500回を超えています。

訪問先では聴いてもらうだけでなく、皆さんも歌ったり演奏をしたり、私たちとのジョイントコンサート等楽しく行っています。たくさんのボランティアコンサートの要請がありますが、残念ながら全部はうけられないのが悩みです。

☆病院での演奏活動☆



せいがい えん みやび かい 清雅苑ボランティア 雅の会 杉村 キミ子さん

熊本市ボランティア活動推進コーナーのご紹介で、熊本市山室にある清雅苑でのボランティア活動が始まりました。月2回、ボランティアとして通っています。

清雅苑は本当にすばらしい所です。ボランティア雅の会の方々も17年近く、尊い善意を惜しげもなくつくっていらっしゃるやさしい方々ばかりです。

また、清雅苑には、書道・生花・肥後狂句・ちぎり絵・縫物・陶芸・押花・水墨画・詩吟・版画・音楽等の色々なカルチャー教室があります。秋には、文化祭が盛大に催されます。クリスマスやお花見等も清雅苑の職員の方々の発案でとても楽しく盛り上がります。

私は、雅の会に入れていただいて、今、とても楽しく、希望が湧いて幸せです。まるで自分がボランティアしていただいているようです。ボランティア活動は、とてもすばらしく、楽しいものです。

雅の会では、カルチャー教室での活動などのお手伝いをしてくださるボランティアの方を募集しています。心からお待ちしています。



利用者の方の歌に合わせて楽しそう♪



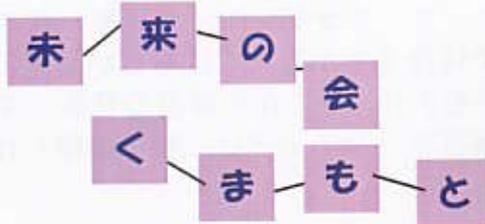
☆雅の会の皆さん☆

～心身ともに健康に生きるまちづくりをめざして～

慰問コンサート等を活動の一部としながら、その目標とするところは、地域社会に根差したものでありたいと発展的な活動をされている団体の紹介です。



会長の河野 かおるさん



チャイルドヘルパー養成講座終了証書授与風景



慰問コンサート



病院のクリスマス会に招かれて

退職した先生方を中心に、かつて教育につくした情熱を社会のために役立てようと、人づくりのために活動をしています。

この「未来の会くまもと」は、「日本退職女教師連合会」を中心に、平成4年に、その趣旨に賛同する保護者「香風会」や、心も身体も健康を願う「心のおしゃれの会」とともに設立し、月に1回、研修や介護老人保健施設などにおいて、音楽療法や慰問コンサートなどを行っています。

さらに、地域に根差した心身ともに健康に生きるまちづくりを活発化させるために、平成16年2月、NPO法人「健康に生きるまちづくり交流会」を創設し、幼・小・中・高校生を対象としたヘルパー養成講座に力を入れています。(写真右上)

現在、“見つめて、学んで、そして生きよう、地域と共に”をスローガンのもと、地域社会を支える力として、幼児期から高齢者とのふれあいを多く取り入れた思いやりのある心を育む人づくりに活動の輪を広げています。

クリスマスコンサート(左写真)

会場がチャペルだったこともあって、音色も雰囲気もすばらしく、夢のようなコンサートでした!

編集後記

わたしたちも取材を通して、演技や演奏を観たり聴いたりしている利用の方々表情から、演芸ボランティアが、いかに、心を豊かにする活動であるかを手にとるよう感じる事ができました。

また、ボランティア活動をされているみなさんの姿から、人の心に触れる活動を通して、お互いが成長していくというボランティアのすばらしい一面をあらためて、教わったような気がします。

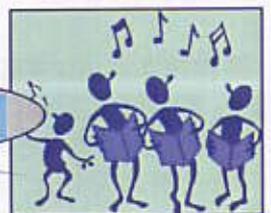
今回は、特に、演芸ボランティアに着目しましたが、今日、ボランティアが注目されているのは、なぜか、その最も大切な真髓をボランティアさんの活動や記事が、十分に語ってくれているのではないのでしょうか。

ボランティア活動推進コーナーでは、他にも、高齢者や障害者を支える活動、自然環境を守る活動、元気な子どもたちを育てる活動など多岐にわたった活動の場を提供しています。

この紙面を通じて、ボランティアアッてなんだろう、わたしもやってみたいなと関心をもってくださったならば、その足で、当コーナーを訪れて、はじめの一步を踏み出してみられませんか。

紙面上のボランティア個人、および団体のみなさんに関する詳しい情報については、ボランティア活動推進コーナーまでお問い合わせください。

お気軽にどうぞ!



情報誌についてのご意見もお待ちしております。

熊本市ボランティア情報誌

はじめの一步(平成17年3月)

編集発行
〒860-8601 熊本市手取本町1番1号 市役所5階 電話 096 (328) 2036
熊本市市民協働課 Email shiminkyoudou@city.kumamoto.lg.jp
〒860-8668 熊本市桜町3番22号 くまもと阪神8階 電話 096 (328) 2868
熊本市ボランティア活動推進コーナー FAX 096 (322) 6677

